

第82回国民体育大会 第27回全国障害者スポーツ大会 競技会の開催について



国民体育大会マーク



全国障害者スポーツ大会シンボルマーク

令和元年 5月

文化スポーツ振興部スポーツ課

1 競技及び施設選定の基本方針と本市における実施競技

■ 競技及び施設選定の基本方針（2018.7.2 決定）

- 1 本市における大規模な大会開催実績が豊富にあり、競技団体と市の連携が十分にとれること。
- 2 競技が市民に広く親しまれており、国体開催のレガシーが残ることが期待できること。
- 3 競技の開催要件を満たす施設があること。また、開催を機に利便性向上や長寿命化等の整備が見込め、本市のスポーツ振興に資する施設として残ること。

■ 本市における実施競技（開催希望競技の決定状況）

競技名・種目名		種別	実施希望会場	決定状況	参加人数※	備考
水泳	競泳 飛込 水球 アーティスティックスイミング	全種別	アクアウイング	第一次選定(2018.11.9)にて内定	約1,725	会期前大会で実施(9月)
バスケットボール		全種別	ホワイトリング 長野運動公園総合体育館 南長野運動公園総合体育館	第一次選定(2018.11.9)にて内定	約1,032	
高等学校野球		硬式	長野オリンピックスタジアム 長野運動公園県営野球場	第一次選定(2018.11.9)にて内定	約920	
サッカー		未定	長野Uスタジアム 他	第二次選定(2019.7)にて内定予定	約376	

※ 参加人数は過去大会要項より

2

県準備委員会から開催の検討を依頼されている競技①



国民体育大会

競技名・種目名		種別	実施希望会場 (参加人数※)	基本方針との整合	摘 要
ボウリング		全種別	ヤングファラオ (約400人)	<ol style="list-style-type: none"> ヤングファラオにおいて全日本大会や北信越大会が行われている。 レジャースポーツとして幅広い年代に親しまれており、近年はシニア層による“健康づくりのためのスポーツ”として、またPリーグ(女子プロリーグ)に代表されるように“観戦するスポーツ”としても普及している。 民間施設を利用するため施設整備は不要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 先催県では、施設借上げに関する経費は県が全額負担 県下最大施設であり余裕ある運営が可能(60レーン) ※全日本ボウリング協会公認競技場
体 操	体操競技 新体操 トランポリン	全種別	ホワイトリング (約720人)	<ol style="list-style-type: none"> 全中大会など大規模大会の開催実績がある。 オリンピックなど“観戦するスポーツ”として人気がある。また、前回やまびこ国体の開催以来、本市施設は県内の体操競技の拠点となっている。 <u>施設改修は基本的に不要だが、備品等は整備する必要がある</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 会期前大会(9月上旬～)なら可 ※ 本大会会期中はバスケットボールで使用 <u>開催に要する経費等について現状では不明確</u>

※ 参加人数は過去大会及び茨城大会要項より



ボウリング競技について、第二次選定(2019年7月予定)までに開催受入れを県準備委員会に回答

・ただし、先催県と同等の県費補助があることを条件とする

- ◆ **体操競技**については、本市の基本方針に合致しているが、会期や開催経費など競技団体との調整が不十分なため、引き続き検討を行う → 第三次選定以降で判断

3 (参考) 国民体育大会ボウリング競技会の開催経費について

■ 第71回国民体育大会 2016希望郷いわて大会 ボウリング競技会 開催経費 ※盛岡市実行委員会資料より

〈 支出 〉

本大会競技運営費 > ボウリング競技事業費	25,443,693円
-----------------------	-------------

(主なもの)

◇ 会場設営・撤去等業務委託	8,071,338円
◇ 会場借上料	11,937,499円
◇ 競技役員宿泊費	1,098,392円
◇ プログラム・ミニプログラム印刷費	970,920円

〈 収入 〉

財源内訳	盛岡市補助金	うち岩手県補助金	21,436,000円
		うち一般財源	2,990,542円
	その他雑入		1,017,151円
計			25,443,693円

■ 先催県における運営費交付率について

交付対象経費の3分の2以内(千円未満切捨て)

■ 運営費特別加算について

民間施設の借上に要する経費(ボウリング及びゴルフ場)については、対象経費(民間施設使用料)の3分の1以内が特別加算されている

※ 民間施設使用料は全額県負担となる

4

県準備委員会から開催の検討を依頼されている競技②



全国障害者スポーツ大会

- ・国体の競技会が行われた会場で開催されることが通例となっている
- ・国体の競技施設で行われるため、施設整備は原則不要(国体のための施設整備時にユニバーサルデザインは配慮)
- ・開催にあたっての経費はほとんどが県負担となる見込み(市では競技会実施本部に係る経費を負担)

競技名・種目名		種別	実施希望会場	参加人数*	適用
水泳	知的障害 身体障害	全種別	アクアウイング	約310人	・会期 3日間
バスケットボール(知的障害)		全種別	長野運動公園又はホワイトリング	約170人	・会期 2日間 ・競技用2コート
車いすバスケットボール		全種別	長野運動公園又はホワイトリング	約85人	・会期 2日間 ・競技用1コート、アップ用1コート
ボウリング(知的障害)		全種別	ヤングファラオ	約170人	・会期 2日間

※ 参加人数は過去大会要項より



上記の競技について、第二次選定(2019年7月予定)までに開催受入れを県準備委員会に回答

- ・ただし、先催県と同等の開催経費負担区分とすることを条件とする

5 (参考) 全国障害者スポーツ大会の概要

■ 開催時期及び開催期間

国民体育大会本大会の直後を原則として3日間(例年10月中)

■ 参加資格

13歳以上の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

■ 実施競技(予定)



車いすバスケットボール(2014長崎大会)

区分		競技数	競技名(身:身体障がい者/知:知的障がい者/精:精神障がい者)
正式競技	個人競技	7	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技(身/知) ・フライングディスク(身/知) ・卓球(身/知/精) ※サウンドテーブルテニス(身)を含む ・水泳(身/知) ・ボウリング(知) ・アーチェリー(身) ・ボッチャ(身)
	団体競技	7	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール(知) ・ソフトボール(知) ・サッカー(知) ・バレーボール(身・知・精) ・車いすバスケットボール(身) ・グランドソフトボール(身) ・フットベースボール(知)
オープン競技			<p>広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについて、主催者間で協議のうえ実施</p>

■ 大会規模等

・選手 約3,500人 ・役員 約2,000人 ・観客 約32,000人(H28いわて大会実績)

・本県では、昭和53年(1978年)「やまびこ国体」開催後の「第14回全国身体障害者スポーツ大会(やまびこ大会)以来の開催となる

6 今後の日程

月 日	項 目	備 考
5月14日	臨時部長会議	資料等、7月の県準備委員会による公表まで非公開
5月21日	政策説明会	
6月	長野県準備委員会事務局へ競技会受入れ等を回答	
7月	長野県準備委員会で競技開催地の選定(第二次選定)・公表	